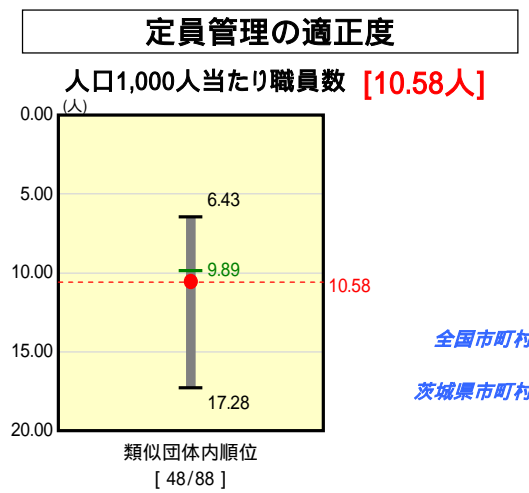
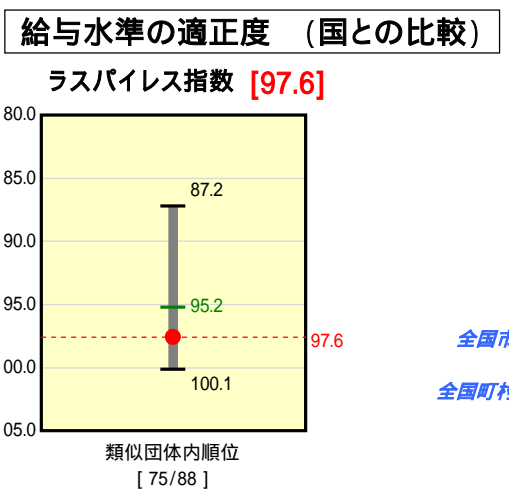
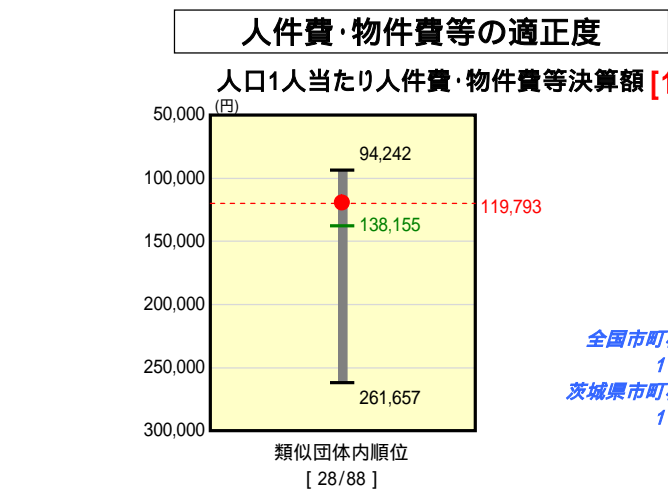
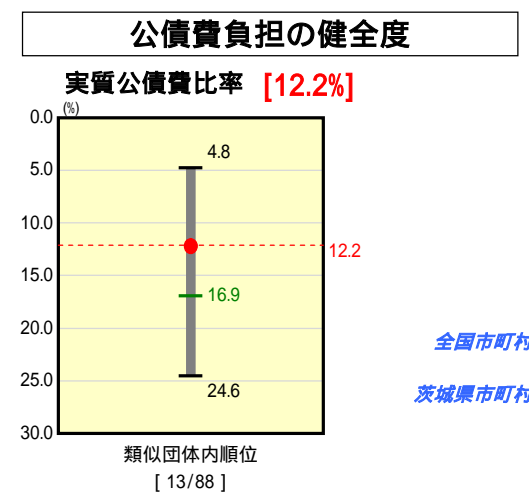
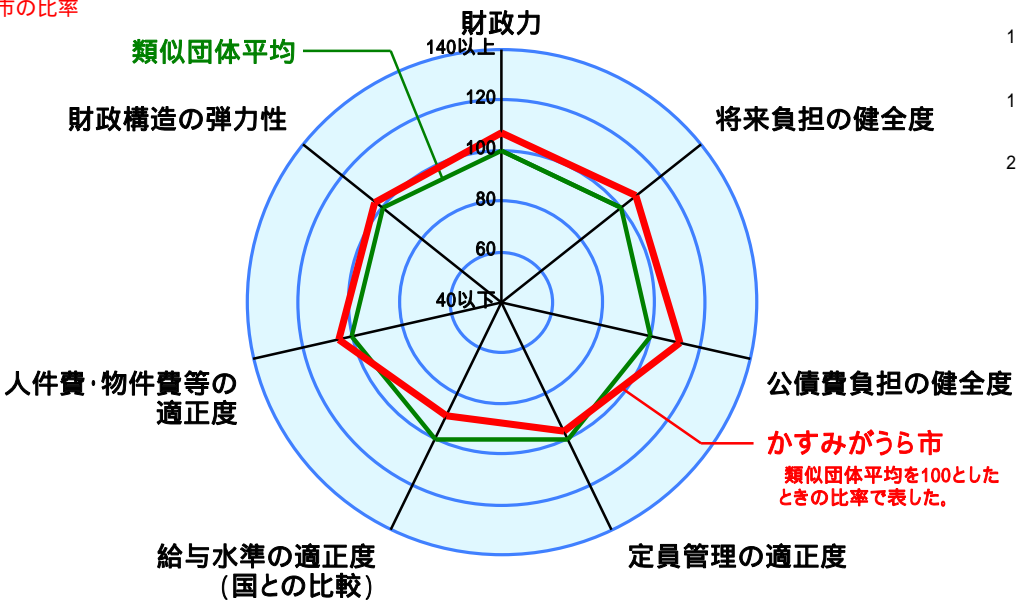
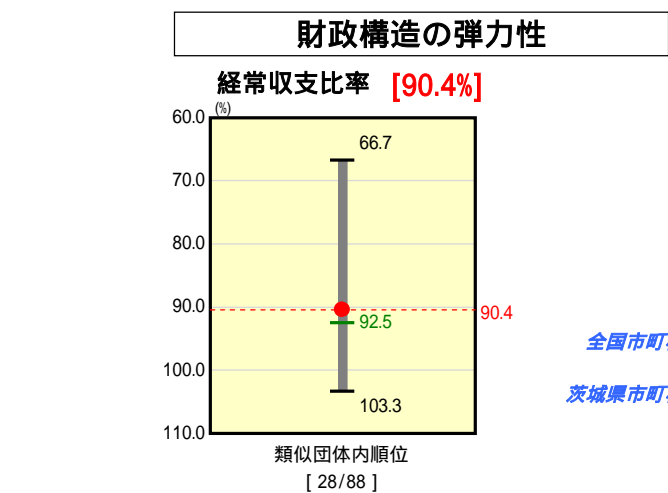
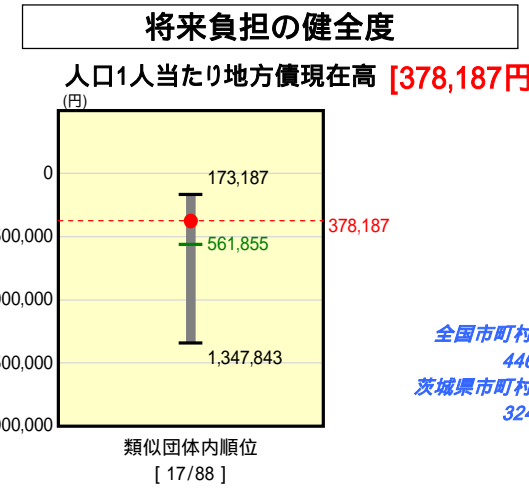
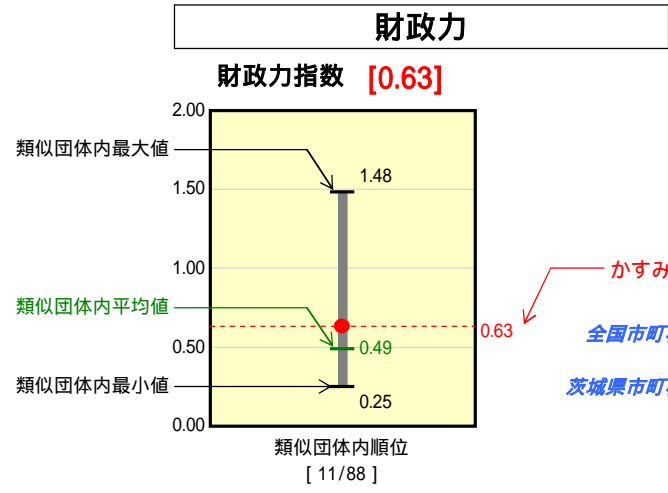


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

茨城県 かすみがうら市

人口	44,785 人(H20.3.31現在)
面積	118.77 km <sup>2</sup>
歳入総額	15,435,419 千円
歳出総額	14,655,020 千円
実質収支	721,516 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力指数】**  
当市においては0.63と前年対比0.02ポイント上昇しており、類似団体と比較すると0.14ポイント上回っている状況である。更なる発展の為、総合計画の基本理念のもと魅力あるまちづくりを展開して活性化を推進し行財政基盤の強化を図る。

**【経常収支比率】**  
類似団体と比べ2.1ポイント下回っているが、前年度同様の数値である。引き続き定員適正化計画に基づき定員管理を遂行し人件費等義務的経費の抑制をはかり、更には行財政改革を進め合理的な歳出の削減に努める。また、起債事業の見直し、平準化を図り抑制を図る。

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**  
需要費等においてシーリングをかけることにより抑制を図っている。類似団体と比較すると18,362円下回っているが、今後においても定員適正化を図るとともに民間委託等の推進、指定管理者制度の活用等の手法を導入しながら抑制に努めていく。

**【ラスパイレス指数】**  
類似団体より2.4ポイント高い状況であるが前年同様の数値である。今後において、昇格や昇給の基準の明確化などにより、職務・職責に応じた給与構造へ転換を図る。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
類似団体と比べ378,187円と183,668円下回っているが、引き続き新市建設計画に基づき合併特例事業が行われていることから、その他の起債予定の事業も含め検討見直しを行い起債の抑制、平準化につとめ急激な上昇を抑えていく。

**【実質公債費比率】**  
類似団体平均と比べると4.7ポイント下回っているが、前年に引き続き新市建設計画に基づき合併特例事業が行われているところであり事業が平成20年から平成22年度にかけピークを迎える予定である。それに伴い償還額は平成26年度にピークを迎え上昇傾向となることから、合併特例事業及びその他の起債事業についても検討見直しを行い起債の抑制、平準化をし、適切な事業の遂行、交付税措置のある有利な起債の選択をすることにより実質公債費比率の適正化を図っていく。

**【人口1,000人当り職員数】**  
類似団体と比べ0.69ポイント上回っている。前年に引続き定員適正化計画に基づき適正化を図っていく。